



春のオススメ本紹介

YA担当より

少しずつ暖かくなり、春が近づいてきていますね。
春は出会いの季節。YAコーナーでは、みなさんと新しい本との出会いを
応援しています。あなたにぴったりの1冊を探してみませんか。



①

「トニー流 幸せを栽培する方法」

トニー・ラスロ／著
小栗 左多里／画
ソフトバンククリエイティブ
YA書架 159ラ



この本の「まえがき」にはこう書かれています。
『さて、みんなが同じように幸せになれるのかどうか？冷静に人間の歴史を振り返れば、それはかなり難しいことと認めざるを得ない。しかしそれでも、ずっと幸せでいたい者の1人として「無理ではない」と答えたい。』

穏やかでちょっとクスッと笑えるトニーさんの語り口と、小栗左多里さん（トニーさんのパートナー）のイラスト&コメントは、物事のとらえ方や考え方の視野を広げ、幸せの幅も広げてくれます。



②

「幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア」

田中 優／著
河出書房新社
YA書架 369タ



ボランティアって何だろう？募金や災害ボランティア、NGOなどのいろんな種類の活動があるし、もしかしたら普段何気なくしている誰かの手助けも、名前はなくてもボランティアになるのかもしれない。

これは、そのボランティアについて少し踏み込んで考えてみる本です。その善意や集めたお金は、どのようにして相手に届いているのか？逆に迷惑になってしまうことってどんなことがあるのか、など。改めて一緒に考えてみませんか？



③

「ギヴァー 記憶を注ぐ者」

ロイス・ローリー／著
島津 やよい／訳
新評論
YA書架 933ラ



一度絶版となった本書は、ファンたちの熱い思いから復刻されました。

主人公のジョナスはもうすぐ十二歳になる少年。彼の住むコミュニティは理想郷とされてきました。「十二歳の儀式」で子どもたちはそれぞれの職業を決定されます。ジョナスに告げられた職業は…。近未来の設定ですが、現代と重なることもあったりして、深く人生や世の中のことを考える機会になります。さあ、ジョナスと一緒に思考の冒険に出ましょう！



④

「Life」

くすのき しげのり／作
松本 春野／絵
瑞雲舎
YA書架 Eマ



「Life」(ライフ)という名の小さなお店。そこでは訪れた人が気に入ったものと引き換えに、自分が使わなくなったものを一つ、置いていくのです。ある日、お店を訪れたおばあさんが置いていたのは、たくさんの花の種。冬の間、色々な人がその種をもらい、代わりにそれぞれの想いのこもったものを置いていきます。そして、春が訪れた時、お店で起こった素敵な奇跡…。

繋がっていく人と人との優しさを感じられる1冊です。



YAとは…ヤングアダルトの略で、「子どもでも大人でもない世代」のこと。13歳から19歳くらいが主な対象です。